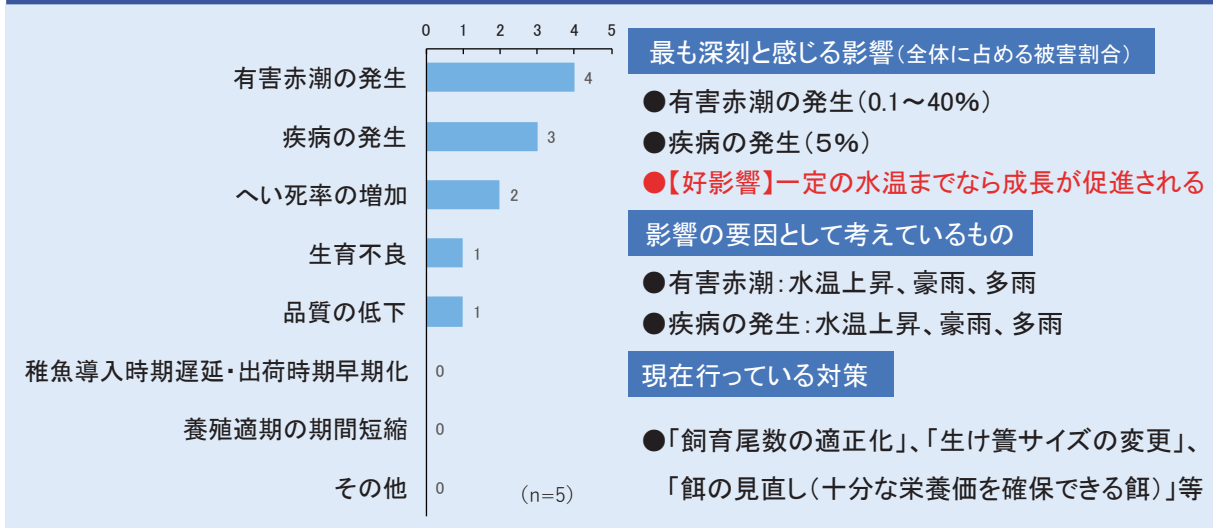


調査対象団体 (下表の5組合の他、1法人にヒアリング)

地域	南予				
	遊子支所	宇和島支所	八幡浜	愛南	久良
アンケート	●	●	●	●	●
ヒアリング	●		●	●	

※ 表の3組合の他、1法人に対してもヒアリングを実施

日常で感じている影響(被害・好影響)と対策



情報収集結果に対する妥当性確認・取り組むべき適応策

●: 科学的妥当性が確認できたもの、▲: できなかったもの

深刻な影響	要因	妥当性確認		取り組むべき適応策
		論文等	有識者	
有害赤潮の発生	水温の上昇	●	—	・赤潮発生予察技術の向上 ・赤潮生物の除去 ・絶食及び生け簀の避難 ・大型生け簀の導入 ・魚類養殖場の底質環境改善
疾病の発生	不明	▲	▲	・密飼いの解消 ・高水温耐性系統作出
【好影響】一定の水 温限度であれば成長 促進	一定までの 水温上昇	●	—	—

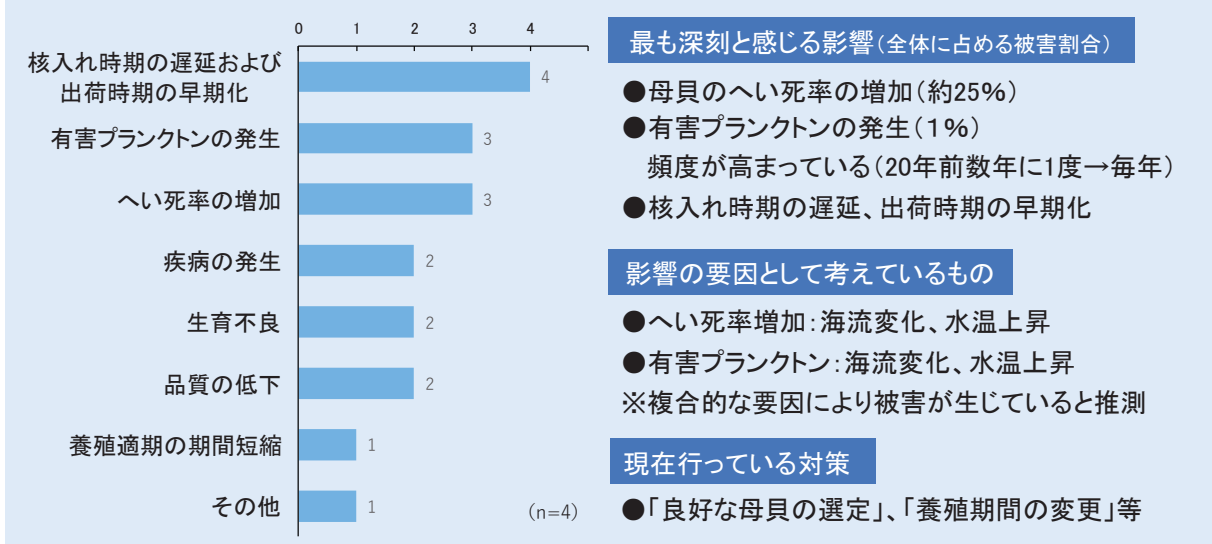
まとめ

- 生産者は水温の上昇による有害赤潮の発生被害を実感しており、学術論文でも高水温が影響するとされており、適応策として予察技術の向上等が必要であるが、有識者からは既に実績のある適応策として、餌止め(絶食)や大型生け簀の導入について意見があった。
- 水温上昇が疾病の発生につながっているとの声が挙げられたが、学術論文等からはその関係性は不明であった。

調査対象団体

地域	南予			
	遊子支所	うわうみ支所	宇和島支所	愛南
調査対象組合				
アンケート	●	●	●	●
ヒアリング	●			●

日常で感じている影響(被害・好影響)と対策



情報収集結果に対する妥当性確認・取り組むべき適応策

●: 科学的妥当性が確認できたもの、▲: できなかったもの

深刻な影響	要因	妥当性確認		取り組むべき適応策
		論文等	有識者	
へい死率の増加	水温の上昇、海流の変化等も考えられるが不明	▲	▲	アコヤガイの高温耐性の強化
有害プランクトンの発生	水温の上昇	●	—	<ul style="list-style-type: none"> ・赤潮発生予察技術の向上 ・赤潮生物の除去 ・生け簀の避難 ・大型生け簀の導入 ・魚類養殖場の底質環境改善

まとめ

- 生産者からは、へい死率の増加を実感するが、要因は水温の上昇や海流の変化等が考えられるものの、具体的にはわからないとの声が挙げられている。学術論文でも、へい死と水温は関係するが、他の要因の関与については明らかになっていないとされており、詳細は不明である。
- 生産者は水温の上昇による有害プランクトン(赤潮)の発生被害を実感しており、学術論文でも高水温が影響するとされており、適応策として予察技術の向上等が必要である。